

# 下市之瀬防災ひと言通信

自分の命は自分で守る

NO. 06

発効日：2016年2月1日

発行者：下市之瀬自主防災会

総合運動公園内に市が管理する防災倉庫があるのをご存じでしょうか・・・  
その倉庫の中に、何が備蓄されているのかを確認する学習会が市社会福祉協議会の主催で開催され、参加しました。



学習会の様子（2015年12月14日）

非常時に必要となる物資は、現在、南アルプス消防本部と総合運動公園内の防災倉庫、そして各支所に分散保管されており、見学した防災倉庫には建物のおおよそ半分程のスペースに水や食料・非常時に必要な各種物資が保管されていました。

しかし、その数は大災害が生じた際に、市全体に行き渡るようなものではないと思われました。例えば、食料は15,000食分が備蓄されているもの。これは、市の人口約72,500人の5人に1人に1度だけ支給できる数量でしかありません。

また、これらの物資を指定避難場所へ搬送する作業は農林商工部の職員の皆様（約30名）が担当されるそうですが、この方々が被災直後から迅速に行動できるとは限りません。市も、防災について懸命に取り組んでくれているものの、被災直後から被災地に対して十分な救助や支援活動を行うことは難しいことだと思われま

す。過去の大きな災害例から、一般的に**自助・共助・公助**の割合は**7：2：1**だといわれています。**災害に備えることも、被災から立ち上がり生き抜くことも自分の力でなんとかするしかありません。**災害への備えは万全ですか？ご自身で、またご家族で今一度確認してみま



防災倉庫内の物資保管状況

